



## 制御盤の製造でもっとデジタルデータの活用を！

制御盤の製造では、短納期対応や熟練作業者の減少、コミュニケーション上の齟齬などが日常的に発生します。こうした問題を電気設計CAD EPLANは解決のお手伝いをします。新しいEPLAN Smart Mounting（スマートマウンティング）ソフトウェアが、非常に効率的な方法で制御盤の組立てをサポートします。Smart Mountingは、組み立て作業者に対して、DINレールからケーブルダクト、電気部品までその取付けをステップごとにガイドしながら、どの部品をどこに取付けるのかを指示します。3D表示に対応していますので、経験の浅い作業者でも部品をどこに取付けるべきかを正確に把握できます。さらにEPLAN Smart Wiringと組み合わせれば、ケーブルの取り回しも正確に表示可能になります。



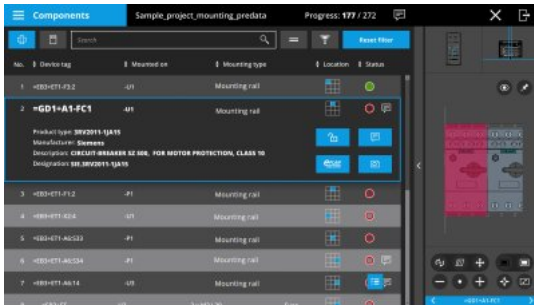
EPLAN Smart Mounting.jpg : 新しいEPLAN Smart Mountingシステムによって、制御盤製造における部品の組立てがもっと迅速に行えるようになります。

## SPS(ドイツの展示会 : Smart Production Solutions)で初公開EPLAN Smart Mounting

2022年11月8日、ドイツ・モーンハイム発—制御盤の製造現場は、短納期対応への要求や熟練作業者の不足といった問題に常にさらされています。そこでEPLANは新しくEPLAN Smart Mountingを開発しました。SPS 2022で初めて公開したこの新ソフトウェアは、制御盤の全組立て工程をガイドします。制御盤や取付パネルの全ての部品について、組立て・取付けを支援するのです。3D表示をサポートしており、一目でわかりやすく作業方法が表示されるので、作業者は部品をどこに取付けるべきかをすぐに把握できます。またEPLAN Smart Mountingは、全ての作業工程をリストとして提示します。たとえばDINレールの取付けから始まり、ケーブルダクト、そして最後は補助スイッチやタイミングリレーを取り付けるといった作業のリストです。ブラウザベースのアプリケーションであるため、インストールは一切必要ありません。たとえばタブレットやパソコンなどから作業現場で直接利用できます。

## 組立が容易に、しかもミスなく

EPLAN Pro Panelのデジタルツインからは、寸法や位置、取付け穴のほか、各部品の固定方法など関連する情報が得られます。また作業者は、部品に関するコメントをEPLAN Smart Mountingに直接書き込んで、それを設計部門に送り返すことができます。そのため、回路図や制御盤組立図に関するドキュメントが常に最新に保たれ、現場要望を電話や紙等ではなく、デジタル情報で共有できます。



EPLAN Smart Mounting2.jpg : 組立技術者に対して、EPLAN Smart Mountingが部品をどこにどのように取付けるかを示します。

実用的なメリットとして、プロジェクトの変更を素早く製造工程に反映できるようになりました。たとえば、別のモータ用サーキットブレーカやコンタクタを追加するように仕様が変更になった場合。これに対する生産指示を更新し、新しいプロジェクトとしてSmart Mountingと同期が可能です。更新されたプロジェクトを使えば、EPLAN Smart Mountingで、どこかの部品を取り外して、どの部品を追加すべきかを正確に表示します。以前のように図面を突き合わせて比較するといった面倒な作業を行う必要はありません。作業時間の節約になるとともに、正確な作業を確実に行えます。たとえ不明な点があっても、EPLAN Smart Mountingから図面に直接アクセスして調べることが可能です。

### 生産管理者はもっとよく全体を把握して、より柔軟に対応できる

大きなサポートが得られるのは制御盤の組み立て作業員だけではありません。生産管理者にとっても、生産状況の全体を把握可能になり、柔軟性が増します。管理システムとして、緑色なら完了、赤色なら未完了などと各部品の組立の進捗が表示されます。作業の進捗がデジタルで明確に可視化できるので、既に開始していた作業指示を、簡単に別の作業員に引き継がせることができます。人員を様々な生産工程に柔軟に振り分けて活用することも可能になります。

### 組立てと配線の連携を強化

プロセスは組立てだけでは終わりません。EPLAN Pro Panelの情報は配線作業にも活用できます。つまり、EPLAN Smart Wiringを使えば、制御盤の配線作業もデジタルデータを活用し、作業員をサポートします。EPLAN Smart MountingとEPLAN Smart Wiringは、どちらもEPLAN Pro Panelの設計データを参照しています。製造現場に至るまでEPLAN Pro Panelの最新の設計データを共有、活用する事で、全工程を通じたデータの一貫性を最大限に保証します。また同ソフトウェアは、Rittal社のWire Terminal WTなど一般的な全自動ケーブルアセンブリ装置に対応しています。もちろん既製品のケーブルも利用可能です。こうしたソリューションの狙いは、初期の設計開発段階から製造にいたるまで、できるだけ多くの部分を最高度に自動化し、同時に最大限の品質を保証することです。

詳しくは：[www.eplan-software.com/eplan-smart-mounting](http://www.eplan-software.com/eplan-smart-mounting)



イープランソフトウェア&サービス (EPLAN Software & Service)

EPLANは、電気制御盤・装置の「設計」「製作」「運用」の効率化を実現するためのソフトウェアとサービスをご提供しています。機械や制御盤メーカーに向けて、世界トップレベルの設計ソフトウェアを開発するとともに、難しい設計製造プロセスの効率化にも高い技術力でお応えします。

全バリューチェーンを通じたデータの一貫性を実現するには、ERPやPLM/PDMシステムに対するインターフェイスが重要です。EPLANをご利用いただければ、全てのエンジニアリング分野にわたってシームレスな連携が可能になり、中小企業からグローバル企業まで、企業の大きさに関わらず、お客様の専門技術をもっと効率的に活用できます。EPLANは、設計から製造までつながるエンジニアリングと自動化を推進し、お客様をサポートしています。すでに「効率的なエンジニアリング (Efficient Engineering)」を理念として全世界で58,000社以上のお客様を支えています。

1984年創立のEPLANは、オーナー経営によるFriedhelm Loh Group (フリードヘルム・ロー・グループ) の一員です。Friedhelm Loh Groupは、全世界で12カ所の生産拠点と96社の子会社を運営しています。グループ全体で12,100名の従業員を擁し、2019年の売上は約26億ユーロに達しました。

より詳しい情報につきましては、[www.eplanjapan.jp](http://www.eplanjapan.jp)と[www.friedhelm-loh-group.com](http://www.friedhelm-loh-group.com)をご覧ください。

### EPLAN Software & Services 株式会社

〒222-0033

横浜市港北区新横浜2-5-11金子第1ビル7階

--

電話番号：045-274-7904  
ファックス：045-274-7905  
info@eplanjapan.jp